学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	インテリア計画	単位数	1 単位	年次	1 年次
使用教科書	インテリア計画（実教出版）						
副教材等	新しい建築の製図（学芸出版社）　超図解で全部わかるインテリアデザイン入門（株式会						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

インテリア計画について建築物などの内部空間をつくるにあたっての設計条件や考え方を整理する視点で捉え工業生産と相互に関連付けて考察し実践的・体験的な学習を行うことなどを通して，建築計画や環境工学・設備を取り上げながら、インテリアの計画ができる能力と態度を身に付けます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・インテリア計画では建築物などの内部空間をつくるにあたっての設計条件や考え方を整理できる。
・工業生産と相互に関連付けて考察できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
・基礎的な図面の読み方を理解し、住空間の計画を中心に、実践的・体験的な学習活動を行う。

【学びに向かう力、人間性等】
・建築物などの内部空間をつくるにあたっての設計条件や考え方を整理しインテリアにおける空間に興味関心をもち、主体的に取り組む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・インテリアの計画について意義，計画の手順，計画の手法，生活と住まいの歴史，住生活の捉え方，住まいの性能などを理解している。 ・インテリアの造形と心理について人間の視覚，聴覚，触覚の特性と造形要素の知覚，インテリアの形態を理解できている。	・住まいの安全性と快適性に着目して，インテリアの計画に関する課題を考察することができる。 ・人間の心理や行動に対応したインテリア計画に着目し，人間の視覚，聴覚，触覚の特性と造形要素の知覚に関する課題を考察することができる。	・インテリアの計画について自ら学び，主体的に学ぶ態度を身に付けている。 ・協働的な学びを通じて，自身の学習を見直し，改善を図ろうとしている。 ・インテリアの造形と心理について，主体的に学ぶ態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	インテリア計画の概要	・インテリア計画の概要 ・縮尺と空間寸法　等 ・建築の計画と環境工学 ・設計と設備	a：インテリアの形態、色彩及びテクスチャー、人間工学について人体と人体寸法、姿勢と動作及びインテリアと住空間を踏まえた空間における行動特性を理解している。建築計画と設備その周りの環境について理解する。 b：生活の変化や豊かで快適なインテリア空間に着目し、インテリアと人間工学に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善している。 c：インテリアと人間工学について自ら学び、インテリア産業の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	学習状況の観察 プリント レポート テスト 発表 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリント レポート テスト 発表 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリント レポート テスト 発表 自己評価・相互評価等
2	インテリアの環境	・人間の感覚と造形の知覚 ・形態、色彩、テクスチャー ・空間認知と空間行動 ・インテリアと人間工学 ・人体と人体寸法 ・インテリアと三面図 ・建築の計画と環境工学 ・設計と設備	a：インテリアの形態、色彩及びテクスチャー、人間工学について人体と人体寸法、姿勢と動作及びインテリアと住空間を踏まえた空間における行動特性を理解している。建築計画と設備その周りの環境について理解する。 b：生活の変化や豊かで快適なインテリア空間に着目し、インテリアと人間工学に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善している。 c：インテリアと人間工学について自ら学び、インテリア産業の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	学習状況の観察 プリント レポート テスト 発表 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリント レポート テスト 発表 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリント レポート テスト 発表 自己評価・相互評価等
3	インテリアと住空間	・姿勢と動作 ・家具と設備の機能寸法 ・インテリアと住空間 ・インテリアと環境 ・建築の計画と環境工学 ・設計と設備	a：インテリアの形態、色彩及びテクスチャー、人間工学について人体と人体寸法、姿勢と動作及びインテリアと住空間を踏まえた空間における行動特性を理解している。建築計画と設備その周りの環境について理解する。 b：生活の変化や豊かで快適なインテリア空間に着目し、インテリアと人間工学に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善している。 c：インテリアと人間工学について自ら学び、インテリア産業の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	学習状況の観察 プリント レポート テスト 発表 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリント レポート テスト 発表 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリント レポート テスト 発表 自己評価・相互評価等

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度